

出会い、体験し、成長する。 3つの短大が支える、あなたのストーリー

3つの短大が連携し、一人ひとりの成長を支える新しい学びが始まります。学校の枠を超えた出会いや地域とのつながり、多様な体験を通して、自分らしさや可能性を見つけていくプログラムです。仲間や先生に支えられながら、自分のペースで学び、社会へ踏み出す力を育てます。



CPPで実現する「新しい学びのカタチ」

CPP カレッジパートナーシッププログラム

短大の枠を超え、学びを共有し、地域と未来をつなぐ創型プログラム

学びの場

Step.1

安心の出会い

(例)「共創リテラシー」(1年次合同授業)

3つの短大の学生や先生、地域の人たちと対面やオンラインでつながって一緒に学ぶ合同授業です。身近なテーマについて意見交換したり、グループワークを行ったりします。



学びのポイント

- ・うまく話せなくても大丈夫。まずは色々な考えを知ることからスタート。
- ・授業の中で、あなたの「好き」や「得意」が自然と引き出される。

学びの歩み

Step.3

自分のペースで成長

「JC-Gate(学修管理システム)」

普段の授業はもちろん、共創プログラムや地域活動など、あなたの頑張りがひとつの画面で見える化されるシステムです。日々の取り組みが記録として残ることで、「こんな力が身についた!」と成長を実感できます。



学びのポイント

- ・日々の積み重ねがJC-Gateに記録され、いつでも自分の歩みを確認できる。
- ・記録を見て自分の成長を実感。焦らず着実に自信を育てることができる環境。

学びの輪

Step.2

一歩ずつの体験

(例)「異文化交流パーティー」

3つの短大の日本人学生や留学生、地域の人たちが集う「異文化交流パーティー」。学生が茶道のお点前を披露したり、世界各国の音楽やゲームを楽しみながら、自然と交流を深められるイベントです。他にも各校主催の行事やイベントに参加します。



学びのポイント

- ・興味のあるイベントから少しずつ参加できるため安心。
- ・他大学の学生や地域の人と楽しむうちに、地域とのつながりを体感できる。

学びの成果

Step.4

自信の未来

「JC-Linkディプロマ・サプリメント」

卒業時には、あなたの頑張りを3短大合同で証明する「学びの証明書(ディプロマ・サプリメント)」を発行。就職活動の心強い武器になります。3つの短大のネットワークをフル活用して、あなたの就職・進学を最後までしっかりサポートします。



学びのポイント

- ・成績表だけでは見えない、これまでの積み重ねを3短大が責任を持って証明。
- ・3短大の先生やスタッフが最後の進路実現まで並走してサポート。

アドバンスト食健康プログラム



地域企業と連携した商品開発を通して、食のビジネスを学びます。

保育ソーシャルビジネスプログラム



子どもの「やってみたい」を大切に、学生が遊びを通して楽しい居場所をつくります。

Sさん

地域生活支援学科・食健康コース
福岡県立山門高等学校 出身

Q: この大学を選んだ理由は？

A: もともと、栄養志望でしたが、食のビジネスにも興味がありました。また友達も受講すると知り、安心して選ぶことができました。

Q: 実際に入学してみてどうでしたか？

A: 必修科目以外は、自分で履修を組み立てられるため、好きな科目を選びやすく時間割が工夫できます。午後があく日を作れるなど、自由度の高さが魅力です。

ワタシの将来の目標

入学して約半年が過ぎ、まだ具体的には決まっていますが、食品関係以外の職種に就きたいと考えています。在学中に国家資格を1つ以上は取得できるよう挑戦したいです。

他学科の学生と話し合う機会があるので、いろんな人と話すことが好きな人は楽しめると思います。

Q: 成長したと感ずることはありますか？

A: 食品衛生学を学び、食中毒の種類や感染経路を知ったことで、普段何気なくしていた行動を見直し、衛生管理への意識が高まりました。詳しい例として、大量に作ったカレーは素早く冷やさないとウェルシュ菌が繁殖して下痢をする可能性があるということが学びになりました。

Nさん

幼児保育学科
佐賀県 敬徳高等学校 出身

Q: この大学を選んだ理由は？

A: 以前から「子どもの居場所づくり」に関心がありました。大学のパンフレットを見た時にプログラムが目標に合っていて、ここを選べば夢の実現につながると感じて入学を決めました。

Q: 実際に入学してみてどうでしたか？

A: 周囲に子どもがいなかったこともあり、入学するまでは地域と子どもの関わりについては実感がありま

せんでした。授業や実習を通して地域が子どもの成長を支えていることを知り、子どもと実際に関わる中で、保育者の言葉や関わり方の大切さを痛感しています。

Q: 成長したと感ずることはありますか？

A: 違う学科や国籍の学生との交流を通して、積極的に質問や意見交換ができるようになり、コミュニケーション力が成長したと感ずます。また、グループで話し合う活動では、率先して発言し、意見交換に参加することができています。

ワタシの将来の目標

保育士・幼稚園教諭として学びを深め、将来は子どもの居場所づくりや生きづらさを抱えている子どもの支援に携わりながら、自然や生き物の魅力を伝える仕事にも挑戦したいです。



長崎短期大学
Nagasaki Junior College



「英会話」の授業で米海軍佐世保基地ニミッツパークを訪れ、サマーブラストのイベントを楽しんでいる様子。

Hさん

地域共生学科 国際コミュニケーションコース Bridge Class
長崎県立佐世保中央高等学校(通信制) 出身

Q: この大学を選んだ理由は？

A: 全日制から通信制高校へ転校した経験があり、大学生活になじめるか不安でしたが、Bridge Classでは自分のペースに合わせて、別教室や自宅から授業に参加できるため、安心して学べる点が入学の決め手となりました。

Q: 実際に入学してみてどうでしたか？

A: 普段は通常クラスで授業を受けつつ、必要に応じて

別教室で受講しています。自分に合った学び方が選べるおかげで、無理なく通い続けられています。入学前に感じていた不安も少しずつなくなりました。

Q: 成長したと感ずることはありますか？

A: 「異文化理解」などの授業を通して、さまざまな人と話す機会が増えました。留学生や友人との交流で自分とは違う価値観に触れ、以前よりも人と話すことに自信が持てるようになりました。

ワタシの将来の目標

今は、銀行や教育関係の仕事に興味を持っています。これからはサービスマン(地域活動などを通じた学び)にも挑戦しながら、自分に合った進路をじっくり見つけていきたいです。



地域のイベントにも積極的に参加しています。

Mさん

生活創造学科 地域未来創生コース まちづくりデザイナーユニット
長崎県立諫早商業高等学校 出身

Q: この大学を選んだ理由は？

A: 地元の大学で学び、地域に貢献できる力を身につけたいと考えていました。地域とのつながりを大切にしながら学べる環境に魅力を感じ、この大学を選びました。

Q: 実際に入学してみてどうでしたか？

A: 講義の内容が充実しており、世の中のしくみを知ることができます。よりよい人間関係を築くために

うすれば良いのかを学ぶことができ、課題について自分で考え解決法を探す機会が設けられている授業が印象的です。

Q: 成長したと感ずることはありますか？

A: 人との関わり方が理解でき、進んで誰かと協力することが楽しくなってきたと実感しています。

ワタシの将来の目標

将来の目標を具体的に描けるよう、さまざまな経験や学びを通して視野を広げ、努力を続けていきたいです。その一歩として、韓国語の資格取得を目指しています。